

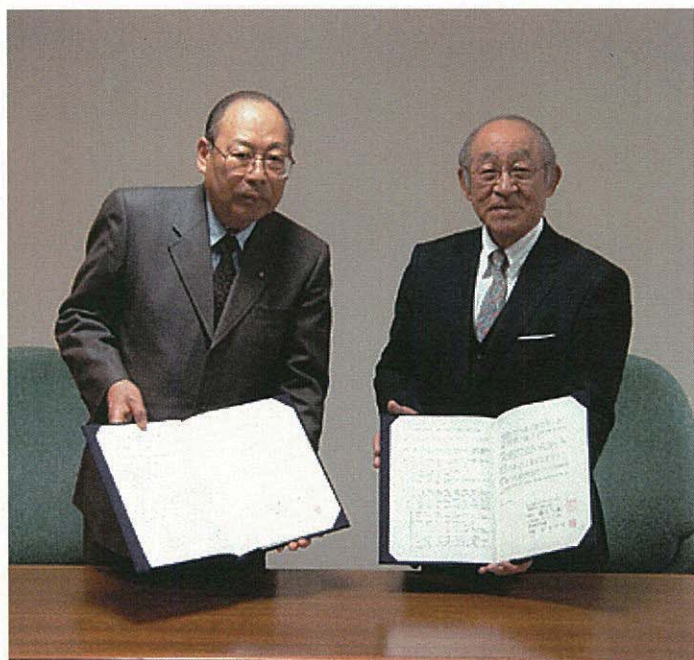
コラボ産学官埼玉支部だより

Vol. 9

発行 コラボ産学官 埼玉支部
事務局長 井草 宣義

平成20年 4月21日

埼玉縣信用金庫は東洋大学と『産学連携協定』を締結しました！



【産学連携協定書を取り交わす東洋大学の塚本理事長(写真右側)と埼玉縣信用金庫の安田理事長】

埼玉縣信用金庫は平成20年3月7日、東洋大学(東京都文京区、塚本正進理事長)と産学連携協力に関する協定を結びました。

当日は東洋大学白山キャンパスの役員会議室で、理事長同士が互いに自署し協定書を取り交わしました。

会場では日本経済新聞社、日刊工業新聞社、ニッキン3名の記者による取材があり、記者の質問

に対し、安田理事長は「中小企業が研究開発のために高額な機器や研究スタッフを保有するのは難しく、大学の研究機関との連携を密にし、埼玉県内中小企業の技術力向上や創業支援を後押ししていきたい。」と語りました。

また、塚本理事長は「昭和30年代に川越キャンパスに工学部を開設、その後朝霞キャンパスも開設され、東洋大学と埼玉との付き合いは長い。埼玉県を基盤とする埼玉縣信用金庫との連携を機に、共同研究に進めるような企業を紹介いただければ、地域貢献にも繋がる。」と話されました。

本協定の中味は、産学連携活動を推進するため、

- ① 民間企業との共同研究、受託研究
- ② 技術相談
- ③ 科学技術情報に関する講演会、セミナー、見学会等
- ④ 大学発ベンチャー等創出のための技術移転等が円滑かつ効果的に実施されるために、両者が協力し合って必要な事業を実施していくこととなっています。

弊支部がこれまで以上に積極的に産学連携を推進していかなくてはならない、という使命を再認識する日となりました。

**産学交流セミナー in 東京理科大学工学部を
開催しました。**



【東京理科大学科学技術交流センター長：瀬尾巖氏】

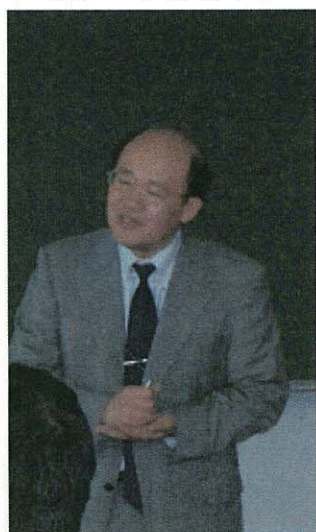
平成 20 年 3 月 4 日、東京理科大学九段校舎で、『産学交流セミナー in 東京理科大学工学部』を開催し、埼玉県各地より 30 名の方々が参加されました。

開講に先立ち、東京理科大学科学技術交流センター・瀬尾センター長よりご挨拶と東京理科大学における産学連携取組みについての説明がありました。

講演の部では、佐々木教授が「競争力を支える基盤技術としてのトライボロジー」、中曽根教授が「マルテンサイト変態を利用した SUS304 鋼溶接材中の貫通疲労亀裂の非破壊評価」を平易な表現でわかり易くお話くださいました。

【佐々木教授 ↓】

【中曽根教授 ↓】



その後休憩を挟み、研究室見学に移りました。

10 名程度のグループになり、大学院生に引率され、①金子研究室(複合材料・接着接合強度・表面改質)、②小林研究室(ロボット・メカトロニクス・画像解析・人工知能・医療福祉工学)、③本阿彌研究室(熱流体工学・伝熱工学)、④吉本研究室(精密工学・機械要素・潤滑・精密機械)、⑤中曽根研究室(材料強度・破壊力学・非破壊検査・計算力学)を順次見学しました。



セミナー終了後の懇親会には大勢の先生方にもご参加いただき、受講者と活発な意見交換がされました。

次回は是非とも神楽坂校舎(理学部)で同様のセミナーを開催できればと考えています。

産学官交流セミナー in SAITEC を
開催しました。



【開講挨拶をする埼玉縣信用金庫神田法人事業部長】

平成 20 年 2 月 22 日、埼玉県産業技術総合センター (SAITEC) で昨年引き続き 2 回目となる施設見学セミナーを開催し、約 60 名の方々が参加しました。

開講にあたり、埼玉縣信用金庫理事・神田法人事業部長、SAITEC・白山研究所長のご挨拶の後、当センターが誇る▼電波暗室▼精密機械加工実験室▼精密測定室▼無機分析室▼制御技術研究室▼プロジェクト研究室を見学しました。



「SAITEC シーズ紹介」では、同センター4名の研究員の方から「微小硬さ試験器」「微細深孔加工」「電解エッチング加工」「すべり検出システム」についての紹介がありました。



【東洋大学・望月教授・清澤名誉教授による特別セミナー】

特別セミナーでは、日本機械学会より委嘱を受け東洋大学が実施する「製造現場における中核人材育成事業実証講座：平成 20 年度版」について、同大学工学部・望月教授、清澤名誉教授よりお話がありました。

その後 3 月に入り、今回参加企業の内 2 社が、同センターの機器利用ならびに分析依頼をしました。

おめでとうございます！！会員企業：株式会社アースクリーンが「平成 19 年度 彩の国産業技術奨励賞」を受賞しました！



【右から 3 番目が㈱アースクリーン・小川社長】

当支部会員である株式会社アースクリーン(代表取締役・小川弘氏)が見事「平成 19 年度・彩の国産業技術奨励賞」を受賞しました。受賞製品は同社が開発した「汚水処理装置」で、平成 20 年 2 月 14 日「彩の国ビジネスアリーナ 2008」において授賞式があり、岡島埼玉県副知事より賞状ならびに副賞が授与されました。

産学官連携キーワードVol.7

メンター【Mentor】・・・ギリシャ神話に登場する人物メントルに由来し、トロイ戦争に出陣するオデッセウスが息子を託した「良き指導者」の意味をいう。現代では経営実践上の「良き指導者」、精神的支援者、信頼のおける相談相手、助言者という意味で使われる。この分野については、この人であるといったほか、個人の知識や技能、判断力を伸ばすのに役立つ人、あるいはそのやり方やノウハウなどを教えることができる人といった意味で使われる。

コモディティ化・・・高付加価値の製品の市場価値が低下し、一般的な商品になること。技術の側面から見ると、技術としての競争力が低下し、一般的な技術となることといえる。技術開発を行うに当たっては、研究開発費を得られるかがビジネス戦略上、重要となるため、収益を得ることができる期間に関わる技術の「コモディティ化」の速さを検討する必要がある。

アウトライセンス【Outlicense】・・・ライセンス化して外部に供給すること。特許活用を考える上で、「アウトライセンス」の戦略性は非常に重要である。産学連携の場においては、TLOが研究者の代理人として「アウトライセンス」の実施、管理を行っているといえる。

－JIPMソリューション発行図書:スタート!「産学連携」より

編集後記

当支部も設立後2年が経過しました。

この2年間に県内中小企業の「産学連携」に対する認識は大幅に改善され「産学連携セミナー」への参加者や「相談案件」も増加傾向にあります。一方、大学側でも「産学連携」に対する取り組みや環境整備も益々強化されてきました。

このような状況下で当支部の会員数は560社（前期比205社増加）となり、年間相談案件は56件となりました。この中で、ファンド資金の投入先が1社、共同研究1社、委託研究1社、委託試験2社、現場改善指導の成果先2社が主な成果であります。このほかに「新連携」の組成に向けて2社が専門家の指導を受けております。

新年度においては、「顧客ニーズ」の相談案件を大学等の研究機関に持込み課題を解決するほか、大学等の「研究シーズや特許等」で事業化できそうな研究案件も積極的にご紹介し、地元経済の活性化にお役に立ちたいと考えております。

末筆ながら、当支部会員をはじめ行政機関や教育協力関係機関の皆様の益々のご発展をご祈念申し上げます。

コラボ産学官埼玉支部 事務局長 井草 記

コラボ産学官埼玉支部

360-8611 埼玉県熊谷市久下4丁目141番地 (埼玉縣信用金庫法人事業部内)

TEL: 048-526-6887 FAX: 048-599-1044

E-mail: info@collabosgk-saitama.com

URL: <http://www.collabosgk-saitama.com/>

会員さん、いらっしゃい!

会員ナンバー：461

会社名：株式会社UCHIDA

代表者：内田 敏一

所在地：ふじみ野市大井武蔵野 1440-2

TEL：049-269-5611 FAX：049-269-5613

URL：http://www.uchida-k.co.jp

E-mail：uchida@uchida-k.co.jp

業務内容：MotoGP を始めとする新機種開発から

ワークスパーツ部品製造・塗装、F1 を始めとし

SuperGT や国内レース各車両等の開発製造、コ

ンセプトカー・プロトタイプ及びモーターショーモデル各種製作、エアロパーツ開発・製造、国内

外各種機体開発及び治具製作



【写真：代表取締役社長 内田 敏一 氏】



△

【写真は内田社長と当社が手掛けた CFRP ボディーのフェアレディズ】

※CFRP=炭素繊維強化プラスチック



△

【CFRP 加工のための最新専用機器が多数設備された第二工場】

同社は 1968 年 10 月に設立、二輪事業部、四輪事業部、航空機事業部の 3 部門が柱になっている。また(有)内田工芸は、同社の発注に基づき製造を引き受ける関連会社である。

同社は ISO9001 認証取得はもちろんのこと、財団法人防衛調達基盤整備協会監修の基、JISQ9100(航空機専用の品質管理規格)の認証も取得し、今後は航空機分野、更には宇宙分野への進出に力を入れていく予定である。

入間郡三芳町の第二工場(左下写真)は、『匠の技でオンリーワン!』を目指す近代工場として、埼玉県より彩の国工場の認定を受けている。

内田社長の下、四十数名の若い社員たちが瞳を輝かせキビキビと働いている姿を目にし、株式会社 UCHIDA は将来、「埼玉発のオンリーワン世界企業」に成長するのでは、といった期待を抱かせる企業である。

—第二工場 主要設備—

- ・CAD/CAM システム
- ・CATIA・V5 2 台 他計 10 台
- ・NV5000B/40(森精機)
- ・VSI10000/40/2050(森精機)
- ・MM-4223(NEO)
- ・DMU-125P(DMG)
- ・クリーンルーム 室容量 256 m²、760 m³
- ・オープン 1000W×1000H×1000D
- 7000W×3000H×2000D
- ・オートクレーブ Φ1500×1800L、Φ1150×1000L
- Φ3000×6000L
- ・検査、測定 ライカ LTD706

取材：上田

— 平成19年度 事業活動報告 —

① 期末総会員数560社 前年比205社増

② 年間受入れ相談件数56件

③ 成果件数7件

技術課題相談会参加企業が技術士の仲介による産・産連携実現、技術士による治具開発

会員企業にコラボファンドの投資実現
共同研究・委託研究各1件

委託試験2件

④ 支部主催(共催含む)イベント集客結果

- ・ 産学交流セミナーin ものづくり大学
5月17日開催、参加者約80名
- ・ 技術課題相談会 in 上尾
5月24日開催、参加企業5社
- ・ 第1回中国ビジネスセミナー
6月29日開催、参加者約100名
- ・ 技術課題相談会 in 川越
7月23日開催、参加企業7社
- ・ 産学交流セミナーin 埼玉工業大学
7月26日開催、参加者約70名
- ・ 技術課題相談会 in 熊谷
10月17日開催、参加企業4社
- ・ 産学交流セミナーin 埼玉大学工学部
11月2日開催、参加者約90名
- ・ 第2回中国ビジネスセミナー
11月27日開催、参加者約90名
- ・ 技術課題相談会 in 春日部
12月13日開催、参加企業9社
- ・ 産学官交流セミナーin SAITEC
2月22日開催、参加者約60名
- ・ 産学交流セミナーin 東京理科大学
3月4日開催、参加者約30名
- ・ 技術課題相談会 in 東松山
3月21日開催、参加企業7社

上記平成19年度支部主催イベントの総参加者数は、お陰さまで550名を超えました。

⑤ ホームページへの情報アップ件数

年間アップ件数=63件

⑥ 第5回・彩の国ビジネスアリーナ2008

2月14日～15日、さいたまスーパーアリーナで開催され、支部としてブースを出展しました。

・ 387企業・団体が(469小間)出展

・ 内出展支部会員数は43社

・ 2日間の来場者 12,050人



その他外部イベントへの参加

SAITEC 主催「技術フェア(6/22)」・「北部技術交流会(11/7)」、さいたま市主催「コラボさいたま 2007(11/9～11)」に支部ブースを出展しました。

⑦ 事業計画に盛り込み実行できなかった事業
大学側との日程調整がつかず「産学交流セミナーin 東京電機大学」は未実施となりました。